

## 視点

# 市民の知る権利に応える情報公開の推進

### 市議会の情報公開への取組

昨年の12月議会で、大船渡市議会基本条例を制定した。議会基本条例は、議会の活動理念、議員の責務及び活動原則、積極的な情報の公開など、議会の基本事項を定めたものである。市議会では、この条例に基づいて積極的な情報の公開に取り組んでいる。

これまで、「市議会だより」で、議会での審議や議決事項、一般質問での当局との議論や委員会活動の様子などについて市民の皆様にお伝えしてきた。現在ではさらに、インターネット上での、議会中継や委員会の视察報告書、政務活動費の收支報告書、領収書の公開など、段階的に情報公開をすすめている。先日の新聞紙上に、岩手県と県内33市町村の「情報公開度ランキング」が掲載された。

この調査は、①情報公開条例の内容②情報公開の実施機関③議会の情報公開④情報のホームページでの公開⑤財政の公開の5分野について評価したものだ。具体的には、行政文書の開示を住民に限定していないか、政務活動費の領収書の公開が行われているかなど、情報公開度の上で課題とされている点などが調査されたもようだ。

大船渡市は調査の結果67点で、一関市に次いで第2位という県内では比較的情報公開が進んでいると評価された。

また、情報公開で留意しなければならないことに個人情報の取扱いがある。行政や議会が実施する各種会議の中で、われわれ議員や市職員は別として、民間の方々の特定の個人を識別す

る情報については特に配慮されなければならない。その例としては、行政文書の開示請求があつても一部非開示となる場合もある。

### 緊急時での個人情報の取扱いは

個人情報の取扱いについては、東日本大震災の時にも問題となつたところだ。

震災後、仮設住宅を探し歩く人に出会つたりしたものだが、仮設住宅に誰が入居されているか分からぬという声をよく聞いたものだ。

家族や親戚、知人の安否確認や、被災された方々の支援などのため情報公開の在り方について課題も指摘された。現在、全国的に大きな災害が増えてきているが、当市では緊急時での個人情報の取扱いについて、震災の教訓を検証し、具体的な運用面のルールや基準等を作成した。

また、一人暮らしの高齢者や、障がい者の方々の地域での把握や情報共有についてもルールづくりを行つてある。

### 知る権利に応える情報公開の推進を

情報公開の重要性については、国会の場で

行政文書としての妥当性や保管など細部にわたり検討しなければならないこともある話題となつた。

また、一人暮らしの高齢者や、障がい者の方々の地域での把握や情報共有についてもルールづくりを行つてある。

8月の日照不足で野菜が一時値上がりし、コメの出来も心配です。サンマ、イカ、サケなども不漁が続いています。

海水温の上昇や海流の変化があるよう

で、これも温暖化のせいでしょうか。

国内の食料自給率50%の目標に対し、実情は38%です。このような中で、農水産業の担い手の育成は、今議会でもくり返し取り上げられました。

紙面を通して市民の皆さんと共に元気な地域づくりに努めてまいります。担い手育成へ議会も知恵の出しどころです。

## 編集後記

### 市議会だより 編集委員会

委 員	金 子 正 勝	副 委 員 長	今 野 善 信
委 員	奥 山 堅 市	委 員 長	今 野 善 信
平 山 千 葉	田 中 英 二	田 中 英 二	奥 山 堅 市
仁 盛			



「大船渡市議会だより」は、国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。